

令和7年度

市政モニターアンケート調査結果
【避難に関する意識について】



長 崎 市
防災危機管理室

1. 調査の目的

災害に対する日頃の備えや避難生活の考えなど、市民の「避難に関する意識」について把握し、今後の啓発活動や避難環境の整備などの参考とするため、アンケートを実施しました。

2. 調査の概要

調査期間：令和8年2月6日 ～ 令和8年2月24日

送付数：261人

回答率：74.3%（194人）

（郵送回答 112人（57.7%）、インターネット回答 82人（42.3%））

3. 調査結果

【マイ避難所の認知度について】

「マイ避難所」を「知っている」と回答した人は、22.7%と少なく、「聞いたことがあるが、詳しくは知らない」と「知らない」と回答した人を合わせると77.3%になります。このことから、長崎市が推進している取組ではあるものの、市民への周知が十分ではないことが分かりました。

【マイ避難所を知った手段について】

「マイ避難所」を「知っている」・「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」と回答した110人の市民のうち、46.8%が「長崎市公式ウェブサイト」で「マイ避難所」についての情報を入手しており、これが最も有効な情報源であるということが分かりました。

【マイ避難所を決めているかについて】

「マイ避難所」を「知っている」・「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」と回答した人のうち、58.7%が既にマイ避難所を決定しており、一定事業についての広報の成果があることが分かりました。

【マイ避難所の場所について】

「マイ避難所」を「決めている」と回答した64人のうち、67.2%が「市が指定する指定避難所」を選択しており、多くの人が、災害時に指定避難所に避難しようと考えていることが分かりました。

【マイ避難所を決めていない理由について】

「マイ避難所を決めていない」と回答した45人の理由として、「どこを選べばよいか分からない」と「まだ家族と話し合っていない」がそれぞれ48.9%と高い割合になっているほか、避難先と考える場所が「安全かどうか判断できない」という回答も多く、多くの市民が自分たちの住む地域の災害リスクを十分に理解できていないことが分かりました。

【マイ避難所の必要性について】

全体の91.2%が「マイ避難所の事前確認は必要」と回答していますが、「マイ避難所」の認知が低いため、多くの市民が「マイ避難所」について必要性を感じているものの、実際の知識や行動には結びついていないことが分かります。

【避難場所や避難所の場所の確認状況について】

市が指定する避難場所や避難所の場所などを確認したことがあると回答した人の合計は71.6%と高い割合でした。多くの市民が災害時に備え、避難場所や避難所の場所を確認していることが分かりました。

【避難場所や避難所の情報が分かりやすいかについて】

市が指定する避難場所や避難所についての場所などの情報が分かりやすいと回答した人の合計は70.3%と高い割合でした。

【避難場所や避難所の情報入手手段について】

情報の入手手段として広報ながさきと回答した人が63.9%と最も多く、回覧板、ハザードマップ、案内板、長崎市公式ウェブサイトはいずれも約40%と大きな差がない結果となりました。

これらの結果から、情報の入手手段は人によってそれぞれであり、各媒体を通じて周知を行っていく必要があることがわかりました。

【避難所における環境について】

避難所における環境として「衛生環境の向上」が大事と回答した人が91.8%と最も多く、次いで「プライバシーの確保」を大事と回答した人が86.6%、「居住性の改善」が73.7%でした。

そのほかの項目についても、高い回答割合となっており、避難所における環境の多様なニーズに対応できるよう資機材の設置をはじめとした、環境整備に引き続き取り組んでいく必要があることがわかりました。

4. 調査結果の見方

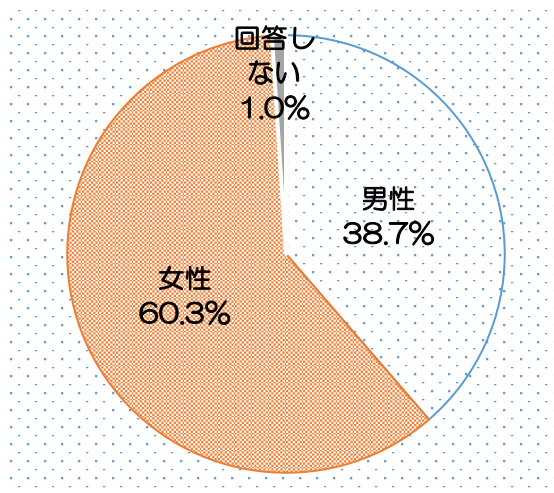
調査結果の数字は、百分率で表記しているものがあり、百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入して、小数点第1位まで表記しています。そのため、内訳を合計しても100パーセントに合致しない場合があります。

また、複数回答可とした設問においては、合計が100パーセントを上回る場合があります。

なお、回答者数の異なる問については、回答者の数を「N=〇〇人」で表現しています。

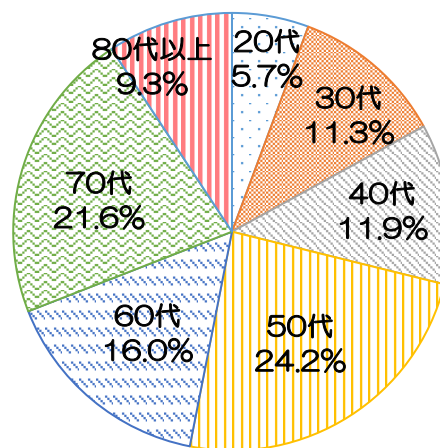
問1 あなたの性別をお答えください。

選択肢	回答者数	割合
男性	75人	38.7%
女性	117人	60.3%
回答しない	2人	1.0%
合計	194人	100.0%



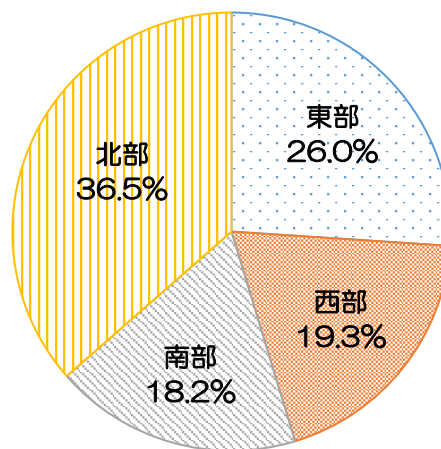
問2 あなたの年齢を選択してください。

選択肢	回答者数	割合
20代	11人	5.7%
30代	22人	11.3%
40代	23人	11.9%
50代	47人	24.2%
60代	31人	16.0%
70代	42人	21.6%
80代以上	18人	9.3%
合計	194人	100.0%



問3 お住まいの町名を教えてください。

選択肢	回答者数	割合
東部	50人	26.0%
西部	37人	19.3%
南部	35人	18.2%
北部	70人	36.5%
合計	192人	100.0%

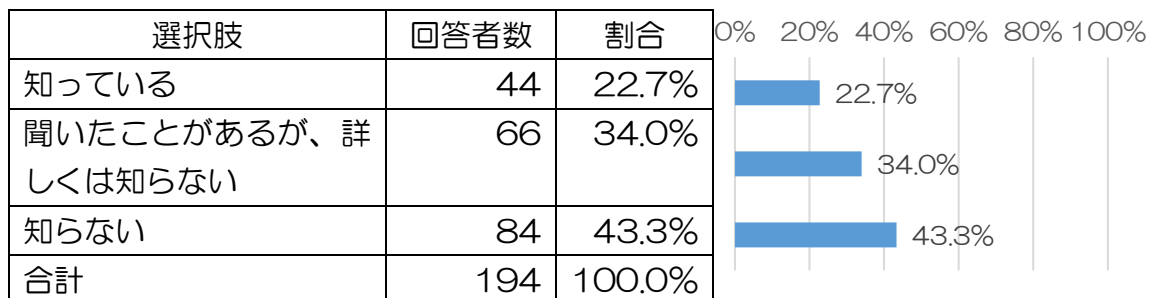


(無回答 2人)

※ご記入いただいた町名をもとに、東西南北に分けて集計しています。

問4 あなたは、長崎市が災害時に備えて推進している「マイ避難所（いつ・誰と・どこに避難するか）」という取組を知っていますか。

（当てはまるものを1つ回答）

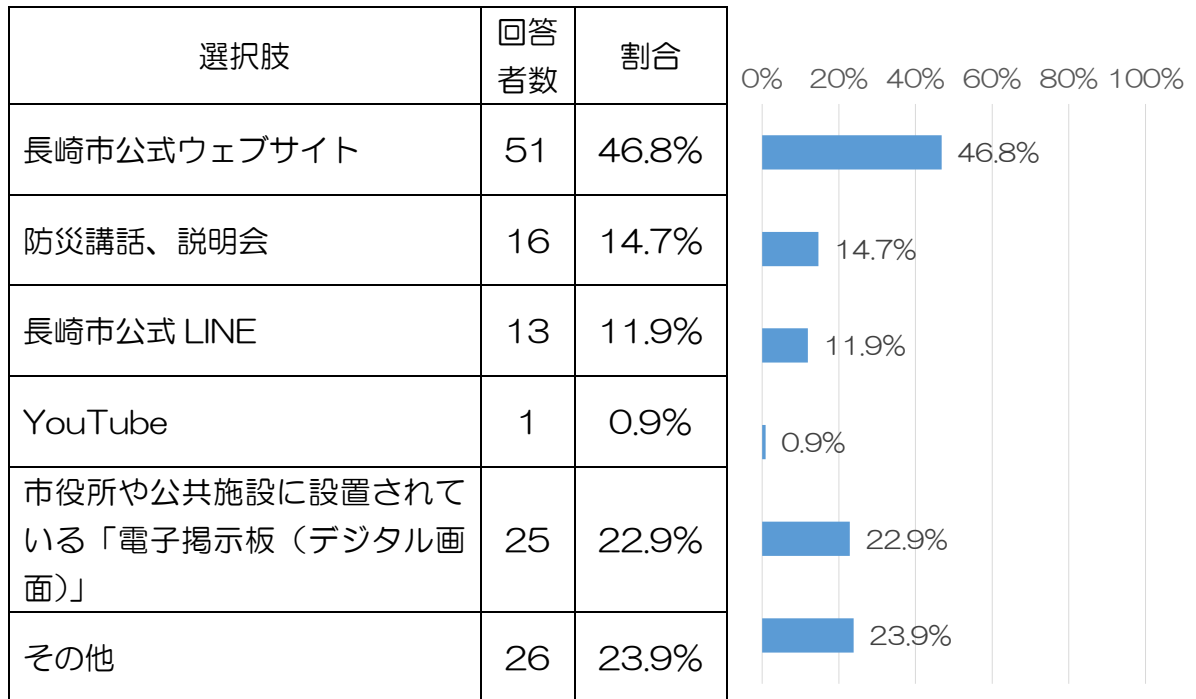


「マイ避難所」について「知っている」と回答した人は 22.7%と少なく、また、「マイ避難所」の認知度は約 57%（「知っている」「聞いたことがあるが、詳しくは知らない」の合計）にとどまっており、4 割以上の市民がこの取組を知りません。

この結果から、長崎市が推進している取組ではあるものの、市民への周知が十分ではないことを示しています。

今後は、様々な情報発信媒体を通して広く市民に周知をする他、防災講話など、地域の集まりで説明する機会を増やすことが必要と考えます。

問5 「問4」で「1 知っている」または「2 聞いたことがあるが、詳しくは知らない」と回答した方に質問です。あなたは、「マイ避難所」について、どのような方法で知りましたか。（複数回答可）



（回答者数 109 人、有効回答数 132）

※「その他」の意見

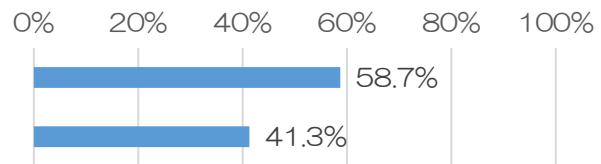
- ・学校、子どもの授業参観
- ・庁内放送
- ・回覧板
- ・自治会
- ・テレビ
- ・知人の紹介
- ・広報ながさき
- ・マップに記載されたものを見た

情報を得た市民のうち、46.8%が「長崎市公式ウェブサイト」で「マイ避難所」についての情報を入手しており、これが最も有効な情報源であるということが分かりました。また、「その他」の回答には学校の授業参観や自治会の回覧板など、多様な情報源があり、市民は様々な手段で情報を入手していることが分かりました。

市公式ウェブサイトが最も効果的な情報発信であることから、市公式ウェブサイトでの周知・広報を進めつつ、その他の方法の充実をさらに進める必要があると考えます。

問6 「問4」で「1 知っている」または「2 聞いたことがあるが、詳しくは知らない」と回答した方に質問です。あなたは、ご自身の「マイ避難所」を決めていますか。(当てはまるものを1つ回答)

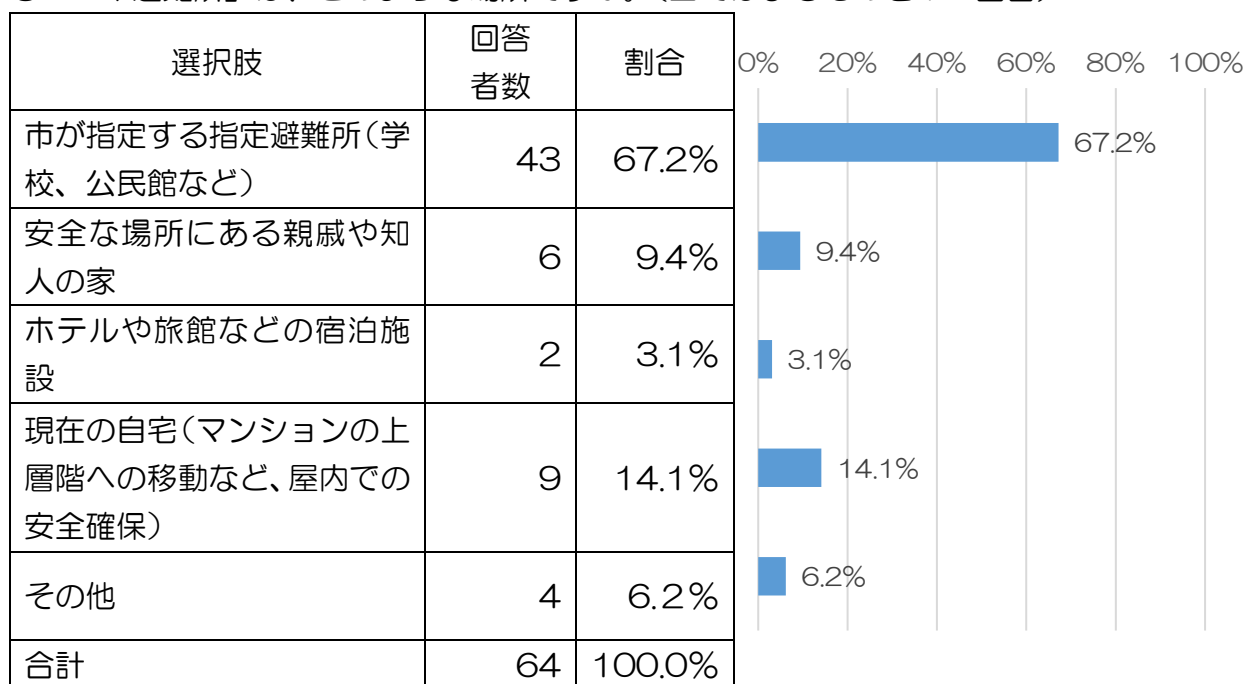
選択肢	回答者数	割合
決めている	64	58.7%
決めていない	45	41.3%
合計	109	100.0%



「マイ避難所」を「知っている」・「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」と回答した人のうち、58.7%が既にマイ避難所を決定しており、一定の広報の成果が見られます。

一方で、41.3%の人がまだ決めていないという状況であり、全市民の認知度が低いことを考えると、「マイ避難所」とはなにかを市民に広く周知する必要があると考えます。

問7 「問6」で「1 決めている」と回答した方に質問です。あなたが決めている「マイ避難所」は、どのような場所ですか。（当てはまるものを1つ回答）



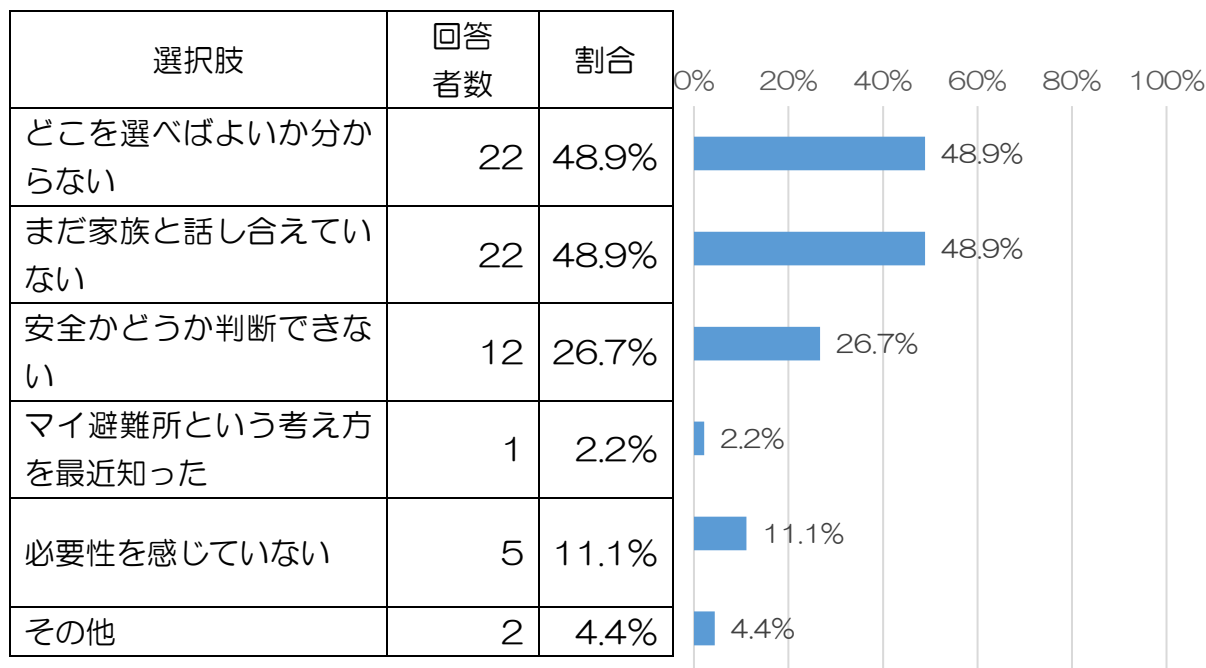
※「その他」の意見

・公園 ・日頃行っている教会 ・職場

「マイ避難所」を決めている人のうち、67.2%が「市が指定する指定避難所」を選択しており、多くの方が、災害時に指定避難所に避難しようと考えていることが分かります。「マイ避難所」は指定避難所だけでなく、自宅が安全なら自宅、親戚や知人の家、ホテルや旅館も避難所として考えることができると周知をしていますが、指定避難所以外を避難所として考えている人は、32.8%でした。

これらの結果から、より安全な避難行動を促す観点から、在宅避難や親戚・知人の家、ホテルなどを含めた分散避難の考え方について、引き続き周知・啓発を強化していく必要があると考えます。

問8 「問6」で「2 決めていない」と回答した方に質問です。あなたが「マイ避難所」を決めていない理由はなんですか。（複数回答可）



（回答者数：45人、有効回答数64）

※「その他」の意見

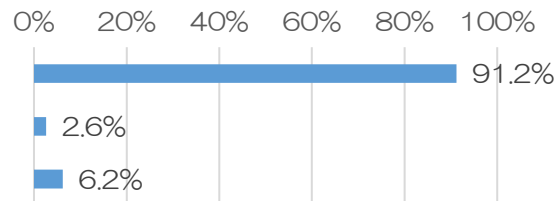
- 必要だとは思っているが、緊急性を感じていない
- 複数の場所で、決めかねている

「マイ避難所を決めていない」と回答した人の理由として、「どこを選べばよいか分からない」と「まだ家族と話し合えていない」がそれぞれ48.9%と高い割合になっているほか、避難先と考える場所が「安全かどうか判断できない」という回答も多く、市民が自分たちの住む地域の災害リスクを十分に理解できていないことが伺えます。

これらの結果から、「マイ避難所」を決める際には、市公式ウェブサイトに掲載しているハザードマップやながさきマップで自分の住む地域の災害の特性を事前に調べる必要があることについて、引き続き周知・啓発を強化していく必要があると考えます。

問9 実際に災害が起きた際に、適切な避難行動を行うため、事前に「マイ避難所（いつ・誰と・どこに避難するか）」を決めておくことが必要と感じますか。（当てはまるものを1つ回答）

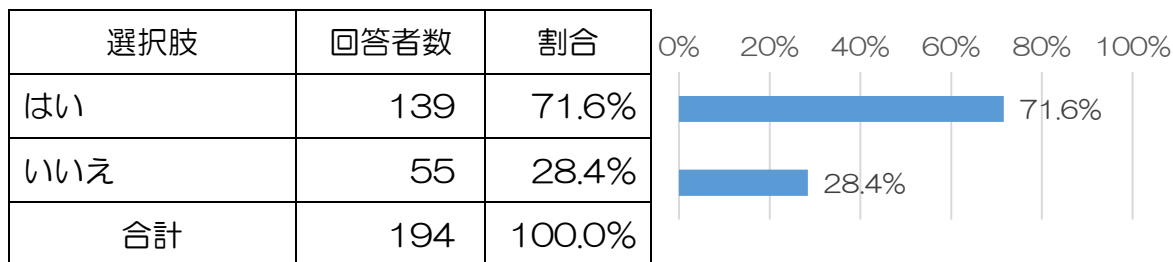
選択肢	回答者数	割合
必要と感じる	176	91.2%
必要と感じない	5	2.6%
分からない	12	6.2%
合計	193	100.0%



全体の91.2%が「マイ避難所の事前確認は必要」と回答していますが、「マイ避難所」の認知が低いため、多くの市民が事前に「マイ避難所」を決めておくことについて必要性を感じているものの、実際の知識や行動には結びついていないことが分かります。

今後は、企業や学校など、地域の様々な主体に声掛けを行い、より多くの市民に「マイ避難所」を周知していく必要があると考えます。

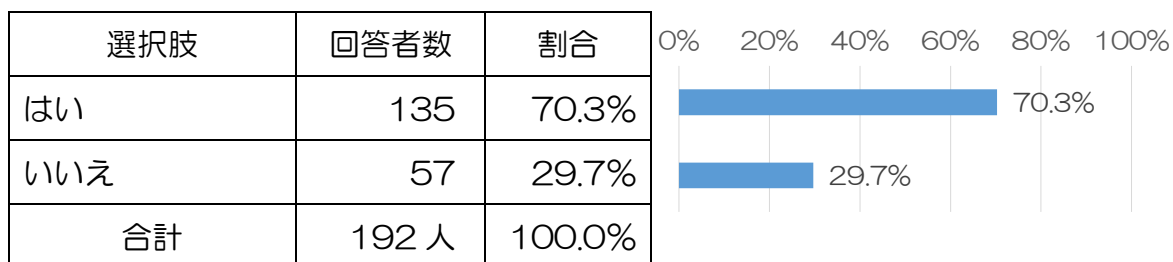
問 10 自分が住んでいる地域にある、市が指定する避難場所や避難所の場所などを確認したことはありますか。（当てはまるものを1つ回答）



市が指定する避難場所や避難所の場所などを確認したことがあると回答した人の割合は71.6%であり、多くの市民が災害時に備え、避難場所や避難所の場所を確認していることが分かりました。

一方で、約4人に1人（28.4%）は確認したことがないと回答しており、様々な方法による避難場所や避難所の周知を図る必要があることがわかりました。

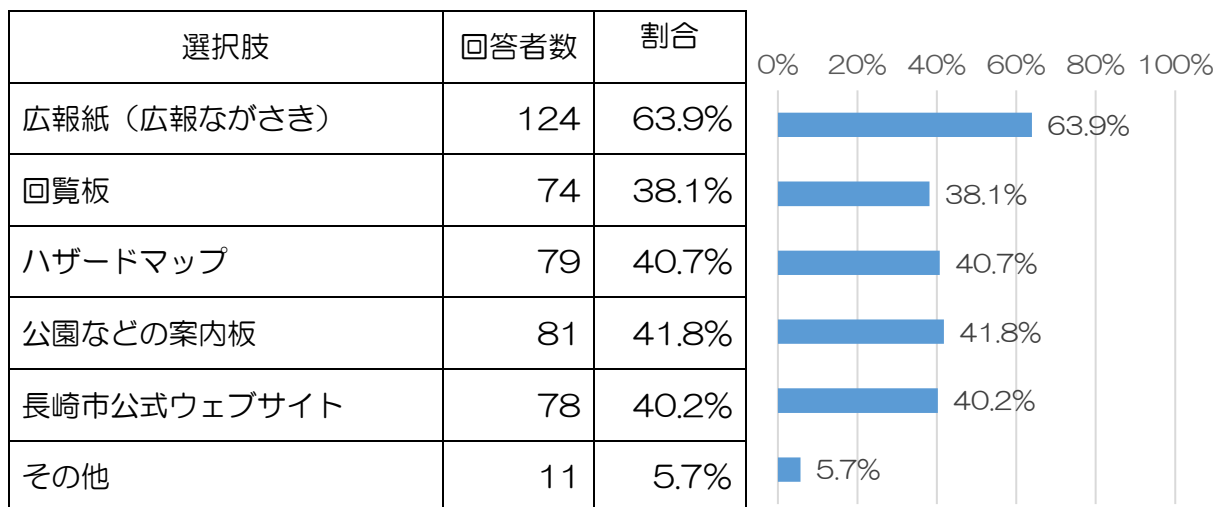
問 11 市が指定する避難場所や避難所についての場所などの情報は分かりやすいですか。（当てはまるものを1つ回答）



市が指定する避難場所や避難所についての場所などの情報が分かりやすいと回答した人は70.3%と高い割合でした。

一方で、29.7%は分かりやすいと感じておらず、様々な方法での周知に加え、分かりやすい情報の提供が必要であると分かりました。

問 12 避難場所や避難所の情報について、どの方法だと入手しやすいですか。
 (複数回答可)



(回答者数：194 人、有効回答数：447 件)

※「その他」の意見

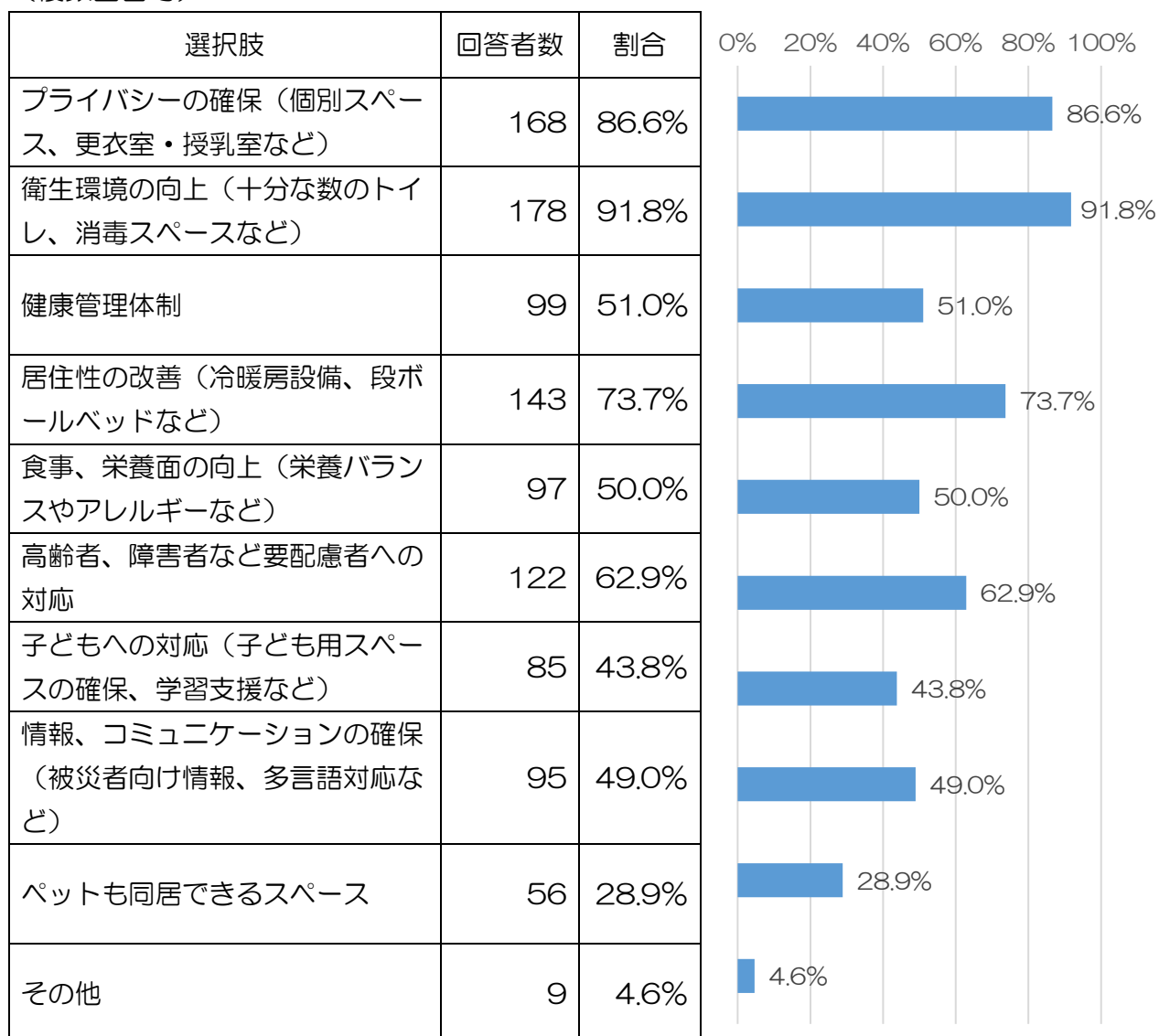
- SNS や市の公式 LINE (4 件)
- TV、ラジオ (3 件)
- 新聞や折込チラシなど紙媒体 (2 件)
- 集合住宅の掲示板に貼る (1 件)
- 大型商業施設などやスーパーなどでの掲示 (1 件)

情報の入手手段として広報ながさきと回答した人が 63.9%と最も多く、回覧板、ハザードマップ、案内板、市公式ウェブサイトはいずれも約 40%と大きな差がない結果となりました。

これらの結果から、情報の入手手段は人によってそれぞれであり、各媒体を通じて周知を行っていく必要があることがわかりました。

問 13 避難所に避難した場合、どのような環境が大事になると思いますか。

(複数回答可)



(回答者数：194人、有効回答数：1,052件)

避難所における環境について「衛生環境の向上」が大事と回答した人が、91.8%と最も多く、次いで「プライバシーの確保」が大事と回答した人が86.6%、「居住性の改善」が大事と回答した人が73.7%でした。

そのほかの項目についても、高い回答割合となっており、避難所における環境の多様なニーズに対応できるよう資機材の設置をはじめとした、環境整備に引き続き取り組んでいくとともに、高齢者、障害者などの要配慮者への対応やペットと同伴できる避難スペースの確保など様々な避難の形態に対応する必要があることが分かりました。